データでみる2015年度の国保組合

加入者数（2016年3月現在）		
	組合員	5万319人
	家族	5万8145人
	被保険者	10万8464人
	介護2号被保険者	4万77人

一人当たり年間保険料 ※介護保険料は2号被保険者一人当り金額		
	医療	11万100円
	後期	2万4768円
	合計	13万4868円
	介護	2万8284円

一人当たり金額		
	国庫支出金	12万1808円
	その他の補助金	6646円
	繰越金	8500円

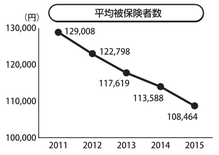
健康診断受診率		
	特定健診	55.9%
	特定保健指導	1.1%
アスベスト再読影	再読影枚数	4万2523枚
	有所見者	3325人

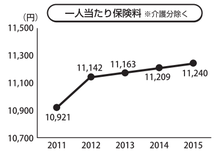
一人当たり年間医療費		
	就学年齢～69歳	17万4977円
	未就学児	21万153円
	70歳以上	57万1881円
	全体	20万208円

一人当たり各拠出金 ※介護納付金は2号被保険者一人当り金額		
	後期高齢者支援金	5万1493円
	前期高齢者納付金	1915円
	介護納付金	5万8832円

国保組合を安定的に運営するためには

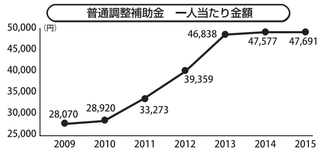
国保組合の歳入はみなさんの保険料と国からの補助金で9割を占めています。過去5年間の動向は、被保険者数が減少し、一人当たり医療費は伸び続けています。医療費が伸びると歳出が増えるため、保険料と補助金で補わなければなりません。一人当たり保険料は、2011年度の改定以降ほぼ同額です。国からの補助金が安定し保険料を引き上げずに運営できています。補助金確保と医療費を減らす取り組みが大切です。





補助金確保の運動を旺盛に

国からの補助金は歳入の4割を占めます。制度改定で補助金が減少すると財政は一気に悪化します。議員要請や予算要求ハガキの運動が大切です。



早期発見 早期治療

◎健康診断を受けよう

年に一度は健康診断を受けて、病気の早期発見・早期治療につなげましょう。

◎結果説明会に参加しよう

健康診断を受けたら、必ず結果説明会に参加しましょう。

◎二次受診して安心しよう

異常があったら二次受診をして重症化を防ぎましょう。

2016年9月から

「組合員資格実態確認」を行います

国保組合は、監督官庁の指導により、定期的に組合員の資格実態の確認を行うことが義務付けられています。この資格確認では、組合員の皆様が建設産業に従事していることを確認できる公的証明の提出をしていただくことが必要になります。

- ○2016年9月末日以降に「資格実態確認用紙」をお送りします。
- ○用紙に必要事項をご記入いただき、公的証明書類（具体的には就業形態ごとに送られる「資格実態確認用紙」に記載してあります）をつけて同封の返信封筒で返送をお願いいたします。
- ○既に支部に提出済みの方については、用紙は送られません。提出は不要です。

ご不明な点は所属支部へお問い合わせください。皆様のご協力をお願いいたします。

※確認内容については、上記目的以外に使用されることはありません。

掲示板

『医療費のお知らせ』をお送りします

平成28年5月、6月に受診された「医療費のお知らせ」を9月末にお送りします。国保組合では、保険証をお使いいただいた時の医療費について、皆さんに関心をもっていただくためにこのお知らせをしています。 お問い合わせは 審査課 048-839-0071

『ジェネリック医薬品に関するお知らせ』を9月末にお送りします

ジェネリック医薬品に切り替えた場合、薬代に300円以上の差額が見込まれる人を対象にお送りします。

※このお知らせは、ジェネリック医薬品への変更を強要するものではありません。

お問い合わせは 審査課 048-839-0071

契約施設からのお知らせ

東京ディズニーリゾート・パートナーホテル

「ホテルエミオン 東京ベイ」

補助券が利用できない日があります。予約の際にご確認ください。

目標を達成した2支部を表彰しました。

2015年度の特定健診は3万3743人が受診し、目標70%に対し55.9%となりました。目標達成支部は2支部でした。また、15支部が前年度受診率を上回りました。

表彰支部

春日部支部　71.6%

八潮支部　71.5%

第25期 理事・監事・顧問・議員

25期の役員体制と新議員が決まりました。

理事長：酒巻 圭一（加須）／**副理事長**：斉藤 顕（坂戸）、上田 博美（吉川松伏）、斉藤 辰巳（本部）、島野 義人（本部）／**専務理事**：段 和志（本部）／**法令遵守担当理事**：野澤角栄（本部）／**理事**：古谷 静雄（さいたま南）、男女嶋 聡（川口）、野村 眞吾（朝志和）、中山 隆（東松山）、菊池 隆夫（蕨戸田）、久保田 武（深谷寄居）、武山 辰雄（岩槻蓮田）、山崎 雅英（久喜幸手）、丸山 一男（飯能日高）、岡崎 隆生（吉川松伏）、淡野 一彦（国保）／**監事**：三浦 清（ふじみ野）、奥原 弘之（本庄）、加藤 隆博（本部）／**顧問**：鈴木 稔（川口）／**議長**：須田 武士（越谷）／**副議長**：西川 久治（新座）／**議員**：新國 孝久・林 宇作（草加）、花木 豊・須田 眞悟（さいたま北）、大澤 康弘・小林 康裕（さいたま南）、佐々木 光男・北田 進（川口）、高橋 孝雄・高橋 稔（朝志和）、山口 荘一郎・（新座）、長沼 晃・女ヶ沢 勇司・（川越）、千葉 昌利（入間）、谷合 正幸・山上 力夫・（所沢）、齋藤 幸夫（越谷）、都築 靖夫（東松山）、増田 整・池内 茂樹（ふじみ野）、矢作 昭夫（中部）、風間 秀雄・片山 千城（蕨戸田）、大平 常晶・坂口 栄一郎（春日部）、田口 豊作（深谷寄居）、佐々木 折夫（坂戸）、佐藤 清志・村上 文男（上尾伊奈）、須川 克彦（本庄）、仲又 公範・田辺 安幸（三郷）、高瀬 治一（行田羽生）、菅原 宣一（宮代）、宮里 敬（狭山）、大和田 誠次・吉岡 勝（岩槻蓮田）、駒形 日登志（久喜幸手）、神田 功（熊谷）、吉川 六朗・鈴木 猛（八潮）、橋上 忠彦（比企西部）、山中 廣市（加須）、野口 道男（飯能日高）、近藤 弘幸・宮川 修治（吉川松伏）、田島 英明（秋父）

役員・職員の表彰

今回で退任の副理事長・理事・監事・議員のうち7人が表彰されました。合わせて職員の勤続表彰がされました。

副理事長：高瀬 扶次夫（さいたま北）／**理事**：高橋 勝一（さいたま南）／**監事**：恩田 宏（新座）／**議員**：小宮山 廣（さいたま北）、古谷 静雄（さいたま南）、浦谷 紀雄（越谷）、丸山 一男（飯能日高）／**職員**：加藤 香（勤続20年）、清水 恵利香（勤続10年）、笹井 智香惠（勤続10年）、川崎 裕子（勤続10年）

国保だより
Support Your Life

2015年度も安定運営

第94回 2015年度決算 国保組合会

ポイント
4年連続で単年度黒字
一人当たり医療費 前年度比4.2%増
特定健診受診率 55.9%

第94回組合会　2015年度事業と決算を承認

組合会は、7月24日(日)保健センターげんき館にて開催されました。資格確認についての学習と国保組合の業務説明が行われ、15年度の事業内容と決算が承認されました。来賓として全建総連の松尾慎一郎社会保障対策部長が挨拶しました。

1.事業運営の概要

マイナンバー法が15年10月5日に施行され16年1月から資格・給付関係の申請書に「個人番号」欄を追加して記入を求め、本人確認（番号確認＋身元確認）を実施しました。17年7月には情報連携ネットワークが稼働することになっており、国保組合も参加を義務付けられていることから、システム改修の準備に入りました。

普通調整補助金が11年度から各組合の所得に応じた交付に是正されたことから、埼玉土建国保の財政状況は好転し11年度は収支均衡、12年度からは単年度黒字が続いています。15年度も前年度水準の調整補助が確保されました。

①組合員の加入数は4年連続で前年度を上回り5377人となりましたが、脱退数も4年ぶりに上回り6786人となりました。差し引きでは1409人の減少となりました。

②一人当たり医療費は、1万6684円となり、前年度比4.2%増となりました。

③付加給付制度は、部負担払戻金3億7727万円、傷病手当金4億399万円を給付しました。

④高額療養費は、16億8083万円を給付しました。

⑤アスベスト、じん肺対策として専門医による胸部レントゲンの再読影を4万2523人分実施しました。有所見者は3325人となり、53人が要受診と判定されました。レセプトからも151人を抽出し、88人が要受診と判定されました。

⑥特定健診受診率は55.9%で県内の69国保保険者のなかでは最高の受診率でした。

⑦指定宿泊施設利用補助は18.1%増の2万184人、ディズニーリゾート利用補助は67%減の3万1349人、インフルエンザ予防接種補助は9.8%減の1万9489人が利用しました。

⑧マイナンバー制度の開始にともない、個人番号の確認や安全管理ができるようシステム改修しました。

2.決算の概要

保険料は被保険者数の減少により2億2000万円の減収、保険給付費は調剤の伸びなどにより2億5000万円の支出増となりました。また、マイナンバー制度に係る補助金が新設され全額補助されました。全体では、調整補助金が前年度水準で確保されたこともあり、予備費4億円を残し、全体で単年度5億2000万円の黒字となりました。

16年度に12億9387万円繰り越しました。

民主主義を定着させ、社会保障の底上げを

理事長　酒巻圭一

ハガキ要請行動や議員要請行動など、皆さんの奮闘により、15年度は単年度で5億2千万円の黒字となりました。

18年度には市町村一元化が始まります。今後は大きな変化が予測され、厳しい状況に追い込まれていくと思います。

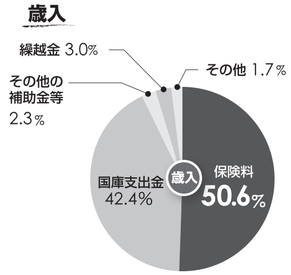
参院選では、与党の争点隠しで改憲勢力が3分の2議席となりました。「選挙は関係ない」と言う人もいますが、投票に行くことは私達の社会保障を守り堅持することになるのだと仲間に伝えていかなくてはなりません。

特定健診では、春日部支部と八潮支部が目標70%を突破し全県の仲間を励ました。

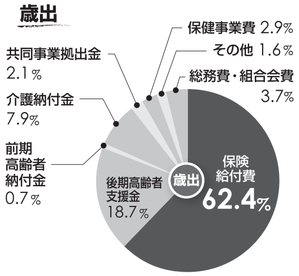
社会保障の連続改悪に手を緩めることなく、引き続き仲間と力を合わせ、大いに闘っていきましょう。

■2015年度決算 歳入・歳出内訳

歳入



歳出



歳入総額　317億3309万円

①保険料	160億5349万円
②国庫支出金	134億5446万円
③その他の補助金等	7億3413万円
④繰越金	9億3884万円
⑤その他の歳入	5億5217万円

歳出総額　304億3923万円

①保険給付費（医療費・給付金）	189億8200万円
②後期高齢者支援金	56億8774万円
③前期高齢者納付金	2億1154万円
④介護納付金	24億439万円
⑤その他の歳出	31億5356万円

要求実現に向け予算確保の運動を旺盛に

全建総連 社会保障対策部長
松尾　慎一郎

昨年、医療改革関連法が通り定率補助の見直しがされました。今年の骨太方針の社会保障分野では予算削減が前提とされ国保組合の予算が懸念されます。厚労省の榎本国保課長は「建設国保の果たしてきた役割を受けとめながら対応したい」「新薬などによる医療費増への補助金増額の対応は「現場が厳しい状況にあるというご指摘を受けとめて考えていきたい」と答弁しています。

医療の分野では、政府は「公助」をないがしろにしながら「自助」を強調し、民間市場の拡大をすすめようとしています。

建設労働者の社会的使命をはたし、地位向上をめざすとともに、仲間の命と健康を守り、平和憲法、立憲主義、民主主義を守るという立場で取り組みをすすめます。ご協力をお願いします。